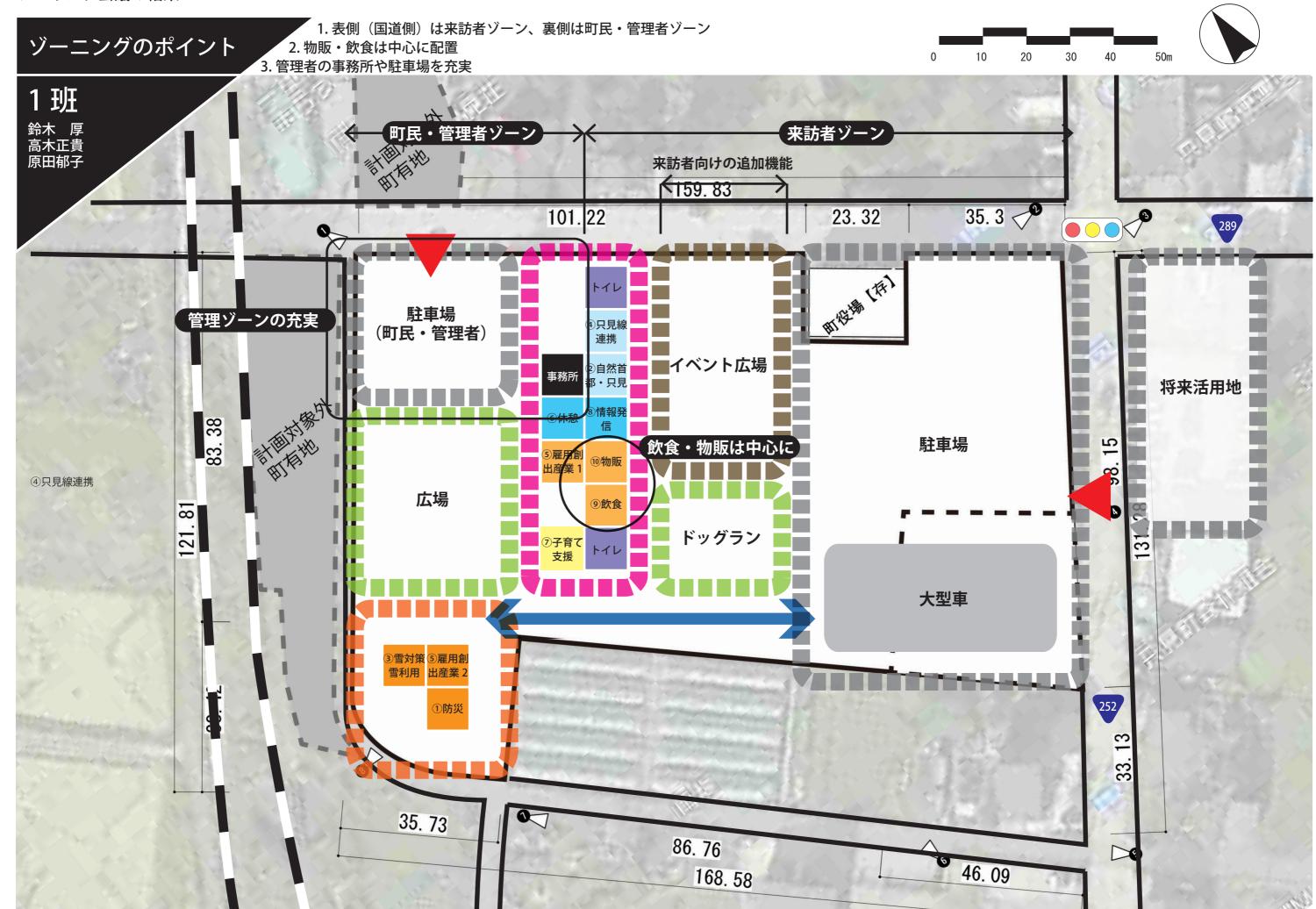
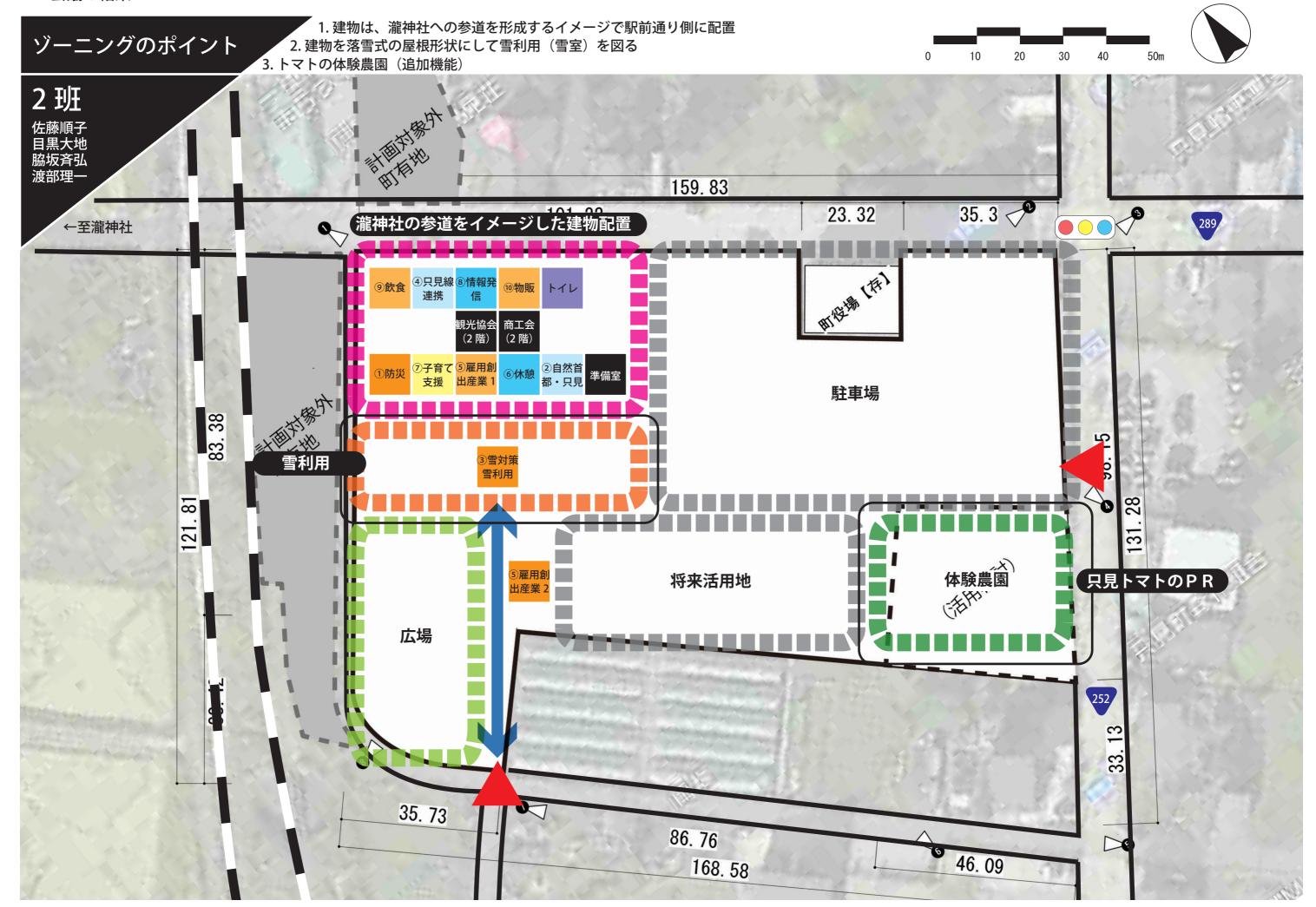
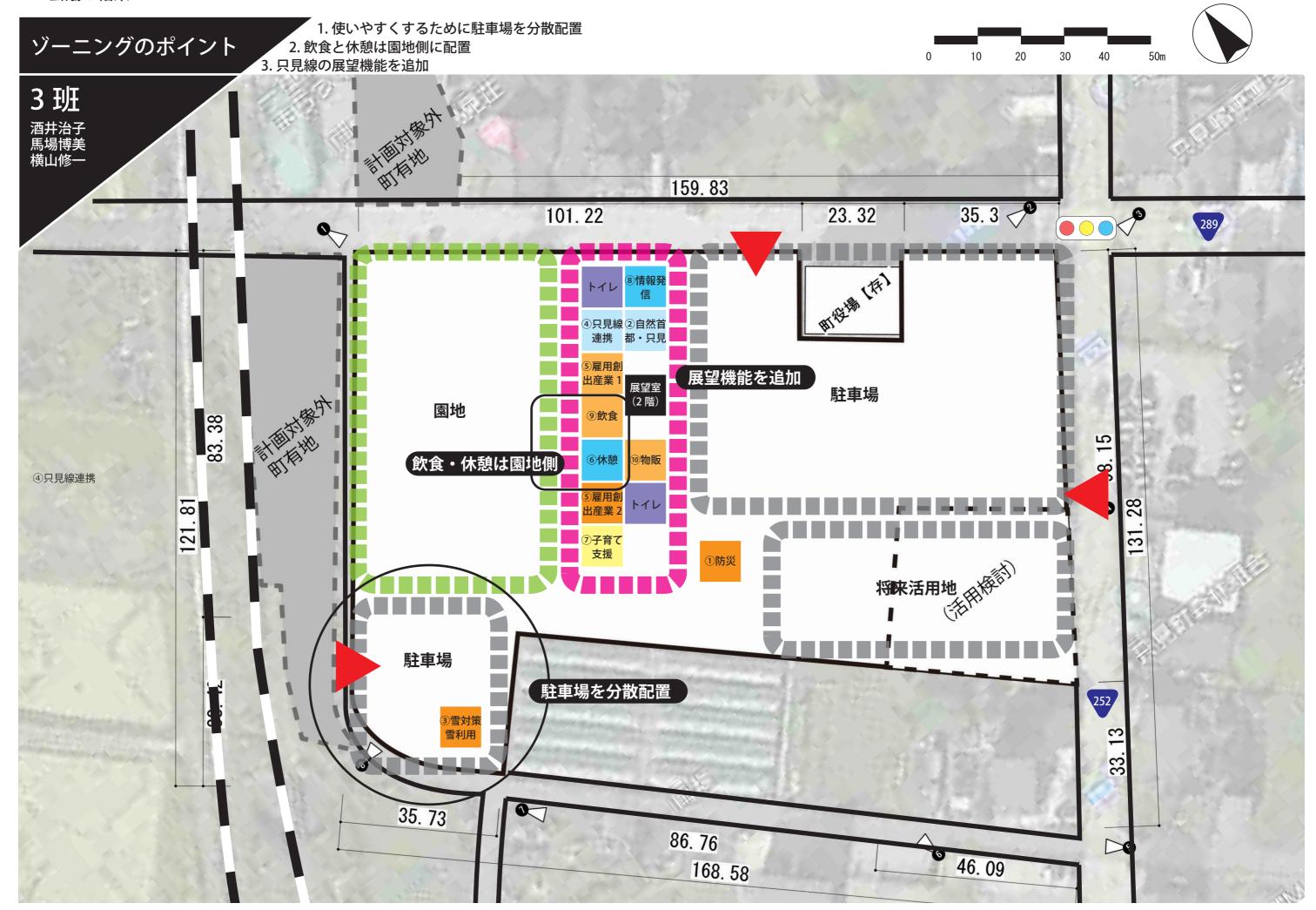
ゾーニング計画に関する資料

第3回只見町道の駅検討委員会 20.11.07(土)

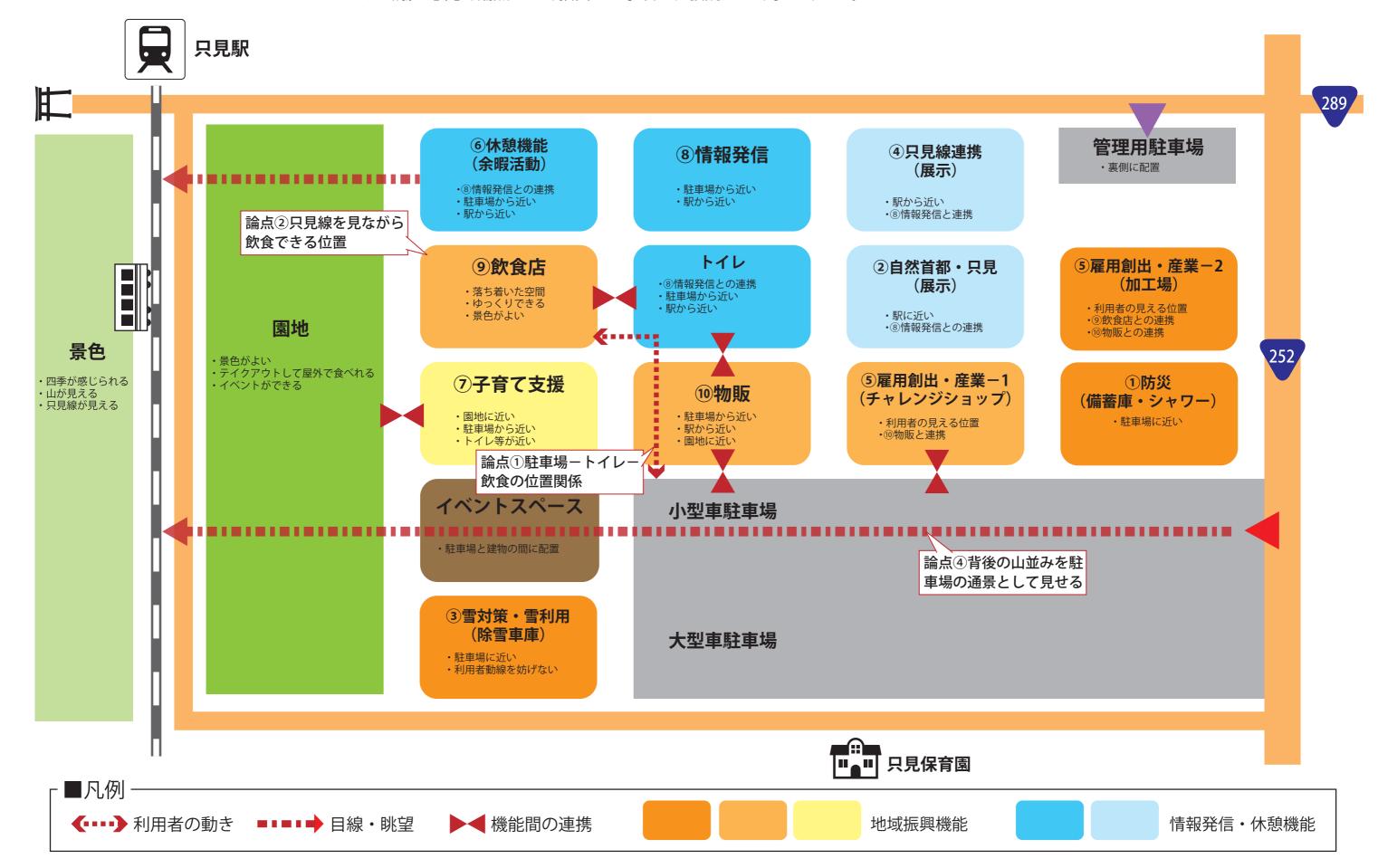


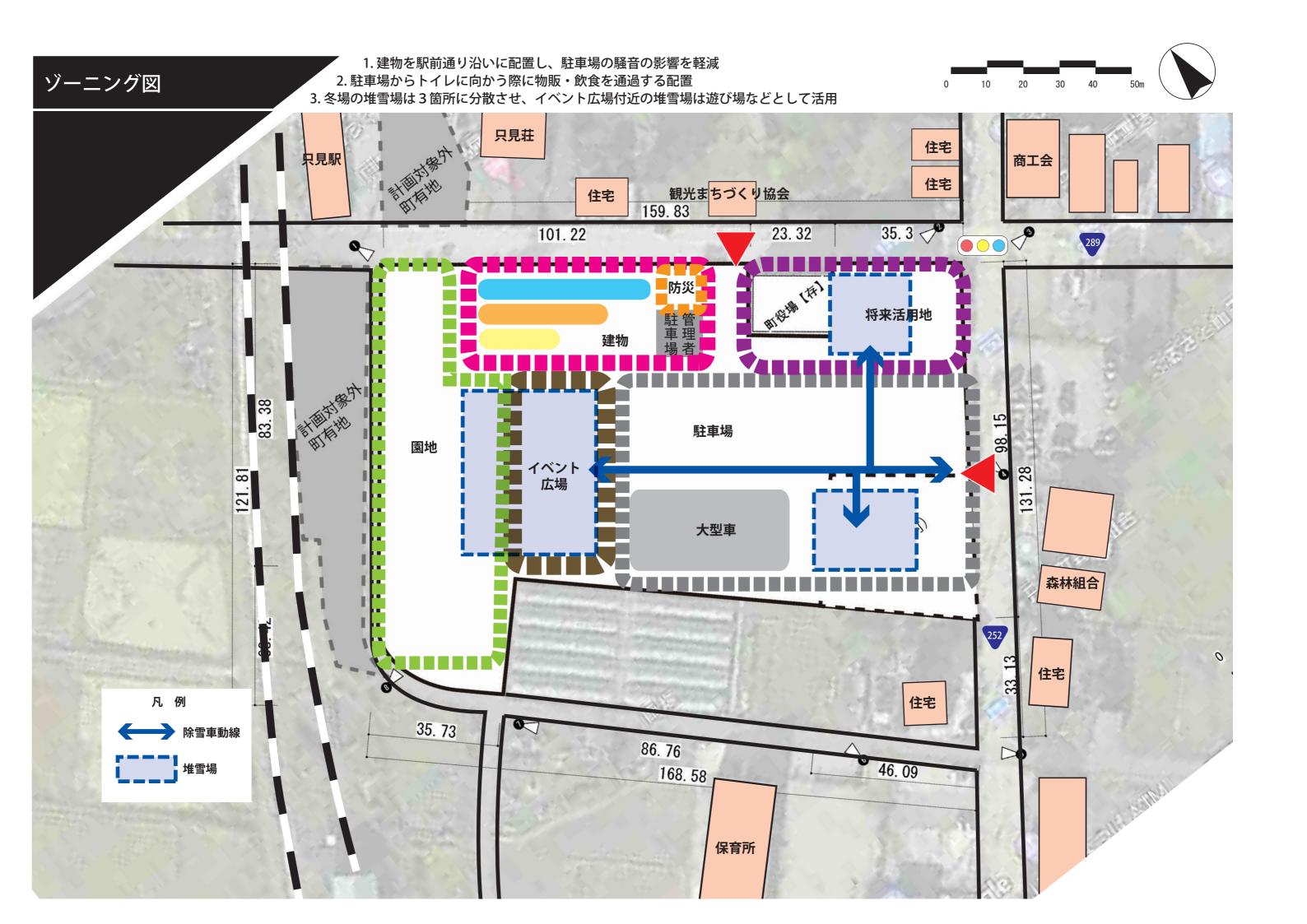




■機能ダイヤグラム

ワーキング会議を踏まえ、事務局で検討した結果、道の駅の各機能のつながりを示した概略図を修正した。ワーキング会議の意見で論点として抽出した事項は、仮説として示している。





ゾーニング計画における論点

	A	В	С
論点①来訪者の主たる利用動線である、駐車場ートイレー物販ー飲食の位置関係をどのように考えるか?	・駐車場から降り立ったとき に、物販、トイレが見える 配置とし、トイレ利用の客 を物販へ誘導する。	 駐車場からトイレへ向かう 動線上に物販機能を配置 し、帰りに物販に立ち寄り やすい配置とする。 	
論点②只見線連携機能として、飲食しながら只見線が見えることに配慮すべきか。また、どのように只見線を見せることが効果的か?	・駐車場から降り立ったとき に飲食が見える配置とし、 駐車場からの飲食機能への アクセス性を高める。	・飲食機能を北側に配置し、 只見線への眺望を売りにす る。	 飲食機能を園地に隣接させ、落ち着いて景色を楽しみながら飲食できるものとする。
論点④背後の山並みを駐車場からの通景として見せるか、建物としに見せるか、など建物の位置によって山並みの見え方・見せ方が変わる。どのように見せることが効果的か?	・出入口から背後の山並みを通景として見せる 建物	・出入口からは背後 の山並みは建物に より分断される が、向こう側から は全体を見ること ができる。	

■機能ダイヤグラム

道の駅と周辺の施設等のつながりを示した概略図です。 ①~⑩は道の駅を構成する機能になります。

